



向井ちひろ市議会通信 NO.34

新たな任期がはじまりました

急速に進んでいく人口減少、少子化、超高齢化など、地域をとりまく環境はますます厳しくなっています。また、地震や異常気象による災害、物価高騰など、私たちの生命や生活、経済の安定的な存続が危ぶまれています。そのような中、私にまちづくりの未来を託して頂いたことの重さを受け止め、より一層精進して参りますので、どうかよろしく願いいたします。

「ひとり一人のために」

これは、私が今期に掲げているスローガンです。だれもが自分らしく幸せで豊かな人生をいき、子どもから高齢者まで多様な人たちがゆるやかにつながりつづけるまちをめざして、政策提案していきます。

*子どもが夢を描けるために

子どもの数が減少するなかでも、子どもたちが夢を描けるよう、ひとり一人に応じた多様な学びの環境を整えます。またオーガニックビレッジ宣言に基づく有機野菜の給食をさらに充実します。そして、働きながら子育てする人たちが安心して子育てできるように待機児童はゼロに、保育の質の向上や放課後児童クラブの充実に取り組みます。

*高齢者、障がい者が安心して自分らしく暮らせるために

まちの本当の豊かさとは、もっとも弱い立場の人たちが尊厳のある人生を送れるよう保障されていることです。年を重ね介護が必要になっても生涯安心して暮らせるまちづくりをめざします。また障がいを持つ人や子どもの意志が尊重され、誰もが自分らしく生きられるまちをめざします。

*だれもが平等に市政に参画するために

今回の選挙で市議会は女性議員の割合が3割になりました。市の審議会、管理職での女性の割合も増えていますが、市政の意志を決める議会、実行する行政には、誰もが平等に参画できるべきです。これからは多くの女性の職業生活を阻んでいる家事、育児、介護の負担、男性の家庭生活を阻んでいる過重労働にも目を向け、育児休業などのジェンダー平等、ワークライフバランス施策を推進します。

皆さまから寄せられた声にとりこんでいます

- *市内で暮らす外国人は市営住宅に入居できるのか？（市民）
→外国人市民も入居可能です。市内の公営住宅は5月、8月、11月、12月に定期募集があり、申込み多数の場合は抽選で決定します。（地域計画課）
- *ワクワク農村創生補助金について、次年度以降にもつながるような事業に使いたいが、どのような内容にすればよいかと悩んでいる。（自治会長）
→ワクワク農村創生補助金は、自治会でのワクワクする取組みに対し10万円の交付が受けられます。内容や申請方法については担当職員が相談に応じますので、お気軽に相談して下さい。（地域振興課、各支所）
- *介護が必要な家族のために住宅改修を考えているが、改修を依頼する事業者の指定はあるのか？（介護者）
→事業者の指定はありません。介護認定を受けている方に対し、介護保険と県の「人生いきいき住宅改修助成」によりバリアフリー改造の支援を受けることができます。（長寿福祉課）

地域での催し等に参加しました

・城東小学校、かやのみ幼稚園 卒業（園）式、入学（園）式	
・河合雅雄顕彰室「万兎（マト）の部屋」オープン記念式典	
・文化協会、愛育班、老人クラブ、保護司会、市同協 総会	
・高城山へ登ろう会	・丹波立杭陶磁器組合 総会懇親会
・高齢者大学開講式	・城東自治会長会 総会懇親会

*この他にも地域での集まりや会合に出席させて頂いています。ぜひ、小さな集まりにお声かけ頂き、皆さまの思いをお聞かせください。

*どんなことでもお気軽にご相談ください。

#向井ちひろ#向井ちひろと千の声 SNSで日々の活動を発信しています。



向井ちひろ（丹波篠山市議会 副議長 / 会派「福祉と教育」）



千の声 No.34

2024年6月発行（偶数月第1土曜発行）

向井ちひろと千の声

丹波篠山市宮ノ前315番地3

☎ 079-555-2625

携帯 090-7550-7596

HP mukaichihiro.org

メール info@mukaichihiro.org

*「千の声」郵送希望の方はご連絡下さい。